

# データ入稿時の注意点（2020年版）

用紙の端にまで文字や色が入っているデザインの場合はデータの作り方にご注意ください。

## × 仕上げ時に問題が生じる可能性のあるデータの例



こちらのデータで  
名刺をお作りすると…



文字の位置が  
用紙の端にかなり近い

デザインの周囲に  
十分な塗り足しが無い

裁断時のわずかなズレによって  
端付近にある文字が切れてしまったり  
白い隙間が見えてしまう可能性があります

※緑色の点線は名刺の実寸サイズ（91×55mm）を表します  
実際のデータにこれらの点線を入れる必要はありません

名刺の仕上げ時に裁断の位置が上下左右にわずかにズレてしまう場合がございます。（最大 1.5mm 程度）

このときデザイン上で用紙の端付近に文字があると、部分的に見えなくなってしまうことがあります。

また、用紙の端まで色が入っているデザインの場合、塗り足しの無い状態でデータを作ると裁断時のズレによって白い隙間が見えて不自然な仕上がりになってしまう可能性があります。

このようなデザインの場合、次のページのようにデータをお作り頂くことをオススメしております。

## ○ 仕上げ時に問題が起きないように修正したデータの例

こちらのデータで  
名刺をお作りすると…

名刺の実寸よりも 3mm 以上  
内側になるように文字を配置する

名刺の実寸よりも 3mm 以上  
外側まで塗り足しを入れる

周囲に余裕を持ってデータを作ることで  
裁断の位置にズレが生じても  
綺麗に仕上げることが可能になります

※緑色の点線は名刺の実寸サイズ (91×55mm) を表します  
黄色の点線は名刺の実寸よりも上下左右 3mm ずつ内側を表します  
実際のデータにこれらの点線を入れる必要はありません

文字は用紙の実寸から 3mm 以上内側を目安に配置して頂き、  
用紙の端に掛かる色については 3mm 以上外側までの塗り足しを入れて頂く事で  
名刺を綺麗に仕上げる事が可能になります。

データ入稿時はこちらの内容をご確認の上、デザインをご用意下さい。